

銃による暴力保護命令



保護命令と銃による暴力の危険を減らす方法についての詳しい情報は、ここをスキャンして入手できます。

ReducetheRisk.ca.gov

命を守るカリフォルニア州の9つの保護命令

差し迫った危険にさらされている場合は、**911**に電話してください。

カリフォルニア州では、平均で3時間に1人が銃による暴力で命を落としています。被害を防ぐため、州には9つの保護命令があります。これらの命令により、銃を一時的に没収し、支援を受ける機会を与えることができます。人々の安全を守るのに役立ちます。

保護命令	誰の役に立つのか	申請できる人	命令期間	
 <p>銃による暴力禁止命令</p>	自分自身や他人を傷つける可能性のある人。	<ul style="list-style-type: none"> 法執行機関 家族や親戚 配偶者、パートナー、ルームメイト 上司、同僚 当人の通う学校の教師 	21日間、1~5年延長可能	
 <p>家庭内暴力接近禁止命令</p>	身近な人（例：配偶者、パートナー、ルームメイト、家族など）から傷つけられたり、恐怖を感じたりしている人	<ul style="list-style-type: none"> 家族や親戚 配偶者、パートナー、ルームメイト 上司、同僚 当人の通う学校の教師 		
 <p>民間ハラスメント禁止命令</p>	親しい関係にない人から、嫌がらせ、ストーカー行為、脅迫を受ける危険がある人。	危険を感じている、脅かされている人		
 <p>高齢者/扶養成人虐待禁止命令</p>	虐待、放置、経済的被害にあっている高齢者、または障害を持つ成人。	<ul style="list-style-type: none"> 65歳以上、または身体/知的障害のある18歳から64歳の方 これらの成人の保護を求めている方 		
 <p>少年少女接近禁止命令</p>	18歳未満の子供が傷害、いじめ、脅迫を受けている場合。あるいは、暴力や脅迫行為をしている子供から保護を必要としている人。	少年裁判所の事件に関係する人々（例：親、保護者、当事者の家庭内の子供、裁判所の保護下にある少年少女のための/からの保護を求める保護観察官やソーシャルワーカー）		
 <p>高等学校における暴力禁止命令</p>	誰の役に立つのか	大学または専門学校のリーダー、またはリーダーが任命した人物		
 <p>職場における暴力禁止命令</p>	職場で脅迫を受けている、危険を感じている従業員、ボランティア、独立請負業者、取締役、公務員。	雇用人		
 <p>犯罪保護命令</p>	刑事事件の被害者または証人。	刑事事件を担当する地方検事。		事件の期間：最長10年まで延長可能
 <p>緊急保護命令 (EPO-001およびEPO-002*) *緊急時に発行されるGVRO (銃暴力保護命令)</p>	自分自身または他人に対して差し迫った危険となる人々。	警察官		公判日数5日または暦日数7日 (最長21日となる場合もあります)